

鍋谷 暁 希望

ガバメントハンターの募集

問 ガバメントハンターを導入することで手続が簡略化され、捕獲までの時間が短くなるなどのメリットがある。緊急銃猟の際にはその役割が重要だと考えるが、募集する考えは。

答 ガバメントハンターの導入は、先駆的に取り入れている自治体もあり、その有用性は認識しているが、全国的にはまだ事例が少なく、専門人材の確保などの様々な課題が想定される。今後、国の支援制度等が示され、全国の自治体での導入事例も出てくると考えており、国、県の動向や先進事例の情報収集に努めながら、必要性を含め検討する。

「宇宙のまちづくり」による高校魅力化

問 市で長年取り組んできた「宇宙のまちづくり」は全国的に見ても貴重な教育資源だと考える。宇宙のまちづくりと連携して、高校の魅力化を推進していく考えは。

答 全国各地で宇宙関連の教育を取り入れた高校が出てきており、こうした高校へ情報発信し、交流を図ることで、本市の宇宙のまちづくりのポテンシャルがさらに高まることが期待できる。今後、検討会議を立ち上げ、高校魅力化に向けた意見交換を重ねる中で、宇宙のまちづくりとの連携を他の活用可能な地域資源と共に可能性を探っていききたい。

その他の質問事項

- ふるさと納税による熊対策費募集
- 緊急銃猟の課題
- 小・中学校との協働による高校の魅力化

渡邊 正人 青松・公明党

小・中学校の特別教室へのエアコン設置

問 音楽室や理科室、美術室、調理室など、授業が行われる特別教室にエアコンがない教室もあり、普通教室同様にエアコン設置の必要性を強く感じる。エアコンの設置を進めるべきでは。

答 平成29年度から令和4年度にかけて、全ての小・中学校の保健室、普通教室、職員室及び図書室へ順次エアコンを整備した。特別教室への設置は、授業の使用頻度や学校からの要望等を踏まえ、理科室と音楽室に設置することとし、小学校は5年度に完了した。中学校は未整備校があり、引き続き整備を進め、教育環境の充実を図りたいと考えている。

ツキノワグマによる人身被害の防止

問 県は、児童生徒の通学や屋外活動に制約が生じているため、各小・中学校へ熊よけスプレー5本を配付し、熊による児童生徒、教職員への被害防止に備えている。配付されてからの使用状況は。

答 各校では、登下校時の見守りや屋外での活動時に、担当者が熊よけスプレーを携行し、児童生徒の安全確保に努めている。また、校地内作業を行う際も携行し、熊への遭遇に備えている。今後も、学校や生活圏への出没が予想されることから、熊よけスプレーの使用方法的な動画を提供するなど、児童生徒等の安全確保のため、取組を一層強化していく。

その他の質問事項

- 猟友会から要望された事項は
- 猟友会等との連携の状況は
- 貸出用のAEDを市で購入できないか

畠 貞一郎 市民ネットワーク
(市民の声・大河の会、能代市政会)

熊対策の抜本的解決は

問 例年になく熊の出没が増加し、その要因をきちんと考えなければならぬ。山の中が荒れ、餌を求め熊が出没していると言われている。抜本的な対策を行うことが必要と考えるが、市の考えは。

答 11月14日に閣議決定されたクマ被害対策パッケージにおいて、緊急的に対応するメニューに加え、抜本的な対策として個体数の削減・管理の徹底等、短期的・中期的に取り組むメニューが示された。市としては、引き続き、被害対策に取り組むとともに、国の対策パッケージで示された内容を踏まえ、取組を充実・強化したいと考えている。

能代火力発電所1号機のリブレース

問 長期脱炭素電源オークションの要件の中に、既存火力発電所の改修について、水素・アンモニアの混焼なども含まれている。30余年経過した1号機のリブレースに対し、市でアプローチすべきでは。

答 能代火力発電所の1号機を含めたリブレースは、社会情勢や経済性、環境面等を合わせて、東北電力株式会社において総合的に判断されると認識しているが、廃止となった場合、本市の産業振興や雇用確保などへの影響が多大であることから、今後も同社へ環境に配慮しながら可能な限り能代火力発電所の運転を継続してほしい旨の要望を続けていく。

その他の質問事項

- 猟友会の待遇改善
- 法定協議会での再公募の説明
- 北高跡地利活用の現状